

世界に誇れる極上の会津米づくり

「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米 100%」

両沼地方米づくり情報 第3号 平成28年6月7日

発行：JA会津よつば営農部・各支店、会津坂下農業普及所・金山普及所

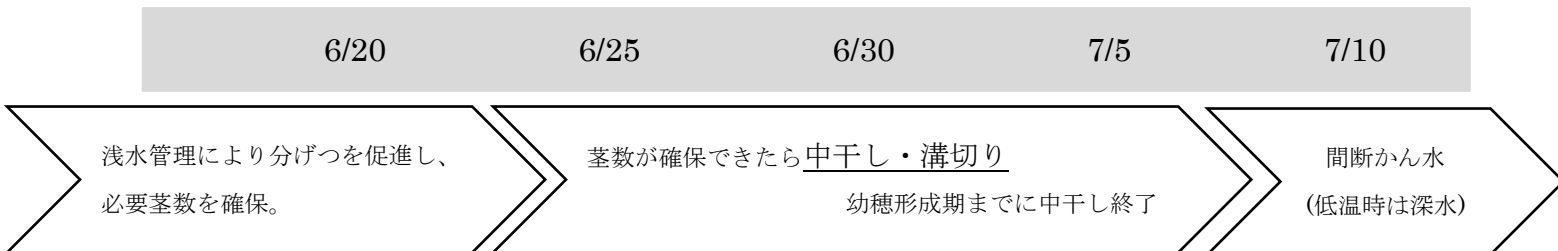
- 今後の気象予報【1か月（6月4日～7月3日）予報】（6月2日 仙台管区气象台発表）
期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の平均気温は、東北日本海側で高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率50%です。
3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



凡例： ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2 作業のめやす



3 水管理 「倒伏させないために、しっかり中干しを！」

- ①ガスがわいて水稻の生育が停滞している場合は、軽く落水してガス抜きを行いましょう。
- ②株当たり20本程度の分けつ(有効茎)を確保したら中干しを行い、無効茎を抑えましょう。
- ③あわせて、溝切り(4～5m 間隔)を行い、中干しを促進するとともに、その後の水管理を容易にして秋作業に備えましょう。
- ④中干しは、幼穂形成期前までに終了し、その後は間断かん水により根を健全に保ちましょう。低温の恐れがある場合は深水にしましょう。
- ⑤水不足ほ場では、無理に中干しを行わず、用水の確保状況に応じた水管理を行ってください。

これらが要注意です。

3 病害虫対策

(1) 斑点米カメムシ類

①雑草の除草について

6月～7月は、畦畔や休耕田等の雑草地で生育します。イネ科雑草やホタルイを好んで繁殖しますので、これらの雑草を中心に除草してください。



イネ科雑草



ホタルイ

また、水田内にホタルイが多発すると斑点米カメムシ類を誘引し、斑点米の発生が増えることが心配されます。イネ科雑草やホタルイ等の雑草が発生している場合は中期除草剤で除草してください。

(2) イネいもち病（葉いもち）

①会津では葉いもちは6月下旬が初発です。感染源となる補植用置苗は、早急に処分しましょう。

②葉いもちの早期発見に努め、病害虫発生予察情報〔★〕を利用し適期に防除しましょう。福島県病害虫防除所のホームページに「BLASTAM」がありますので確認してください。

★病害虫防除所のURL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

イネ葉いもち感染好適条件出現状況（BLASTAM）

③ほ場内に葉いもちの発生を確認した場合、速やかに散布剤（液剤・粉剤）で防除してください。

散布剤の例：ブラシン粉剤DL、ビーム粉剤DLなど

④田植え時に箱処理剤を処理していない場合、または直播栽培の場合は葉いもち対策として水面施用剤で防除してください。

薬剤名	使用時期〔葉いもち〕	使用量 (/10a)	使用方法
フジワン粒剤	初発 7～10 日前	3～5 kg	湛水散布
オリゼメートパック	収穫 14 日前まで	20～26 個	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる
オリゼメート粒剤	初発 10 日前～初発時	3～4 kg	散布
コラトップ粒剤5	初発 10 日前～初発時	3～4 kg	散布

(3) その他病害虫の発生状況（6月2日現在）

①イネミズゾウムシ

5月中～下旬に行った巡回調査では、本田への侵入が見られたほ場もありましたが、食害は極めて少ない状況でした。

②イネドロオイムシ

5月中～下旬の巡回調査では、成虫の本田侵入はごくわずかでした。

③イネハモグリバエ

5月中～下旬の調査では、食害は見られませんでした。